

1. 単元名 イメージを広げよう

～三好達治「雪」～

2. 本時のねらい

- ・三好達治の「雪」の詩から，イメージをふくらませる。

3. 本時の展開

| 学習活動 | 支援 センターの指導主事の支援 |
|--|---|
| <p>1. 三好達治の「雪」をノートに視写し，この詩から頭に浮かんだことを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">雪</p> <p style="text-align: center;">三好達治</p> <p>太郎を眠らせ，太郎の屋根に雪ふりつむ。 次郎を眠らせ，次郎の屋根に雪ふりつむ。</p> </div> <p>2. 家は何軒あるのかを考え，太郎と次郎の関係について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兄弟なのか ・他人なのか ・人間なのか <p>3. 「眠らせ」とあるが，眠らせたのは誰なのかを話し合う。</p> | <p>詩を板書し，暗唱・視写へとつなげ，詩の世界に浸らせたい。</p> <p>頭に浮かんだことをノートにすべて書き出させ，イメージを広げさせたい。</p> <p>簡単なイラストを描かせ，太郎と次郎がどういう関係なのかを考えさせる。</p> <p>理由をノートに書かせることにより，自分の意見をはっきりもたせたい。</p> <p>皆の意見を認めながら，自由な雰囲気でも話し合わせたい。</p> <p>センターの先生には，2や3の話し合いの中で子どもたちのイメージが広がるような視点をあたえて頂きたいです。</p> |